

検証の趣旨

5月の「北海道版避難所マニュアル」の改正を踏まえ、学校施設を使用して新型コロナウイルス等の感染症対策を講じた避難所を開設し、専門家の指導を受けながら運営上の留意点などを確認・検証しました。

感染対策の基本の実践

◆避難所運営が行う3密の回避

- 密集回避【人数把握】
- 密接回避【レイアウトの工夫】
- 密閉回避【換気】

◆避難所の全員が実践

- 【身体的距離の確保】
- 【マスクの着用】
- 【手洗い】

体育館での避難

専門家の指導・課題(主なもの)

- 共同生活としてのルールの周知
受付、換気、掃除など避難所のルールの周知
- 床面からの接触感染対策
裸足や靴下での接触感染対策としてスリッパ持参での避難の呼び掛け
- 八工や蚊の対策を講じた換気方法
常時換気に対応するよう仮設網戸の設置
- 生ゴミからの感染防止
使用済みの食器や生ゴミは感染リスクが高いため、自分で袋の口を縛って廃棄
- 清掃時のゴム手袋を介した感染拡大防止
清掃中、ゴム手袋のままドアノブ等を触るとそこから感染が広がる。
- 断水時におけるトイレへの備え
避難所や在宅避難に備えた携帯トイレの備蓄

避難者の受付・案内

専門家の指導・課題(主なもの)

- 荒天を想定した受付
大雨や強風での受付も想定した準備が必要
- 車中泊のリスクと予防への積極的な取組
安全な車中泊はないため、推奨していない
災害関連死を防ぐ積極的な取組が必要
- 確実な人数把握と共有
受付でのチェックと災害対策本部等との共有
- 体温計など共用物品を介した接触感染防止
共用物品の消毒の徹底と使用前後の消毒の表示
- 発熱者の誘導動線での感染防止
動線が交差するレイアウトでは、声掛けにより相互の2mを確保して誘導

体調不良者等の避難

専門家の指導・課題(主なもの)

- 検温スタッフの感染防止
非接触型体温計でも正確に測ろうと顔を近づけたり、相手に触ると感染リスクが高い
- 飛沫感染のリスクとパーティションの高さ
座ったときに頭が隠れる高さ（140～150cm程度）のパーティションであれば、飛沫感染のリスクは低い
- レイアウト検討時の優先事項
優先事項1～ベッド間は2m確保
優先事項2～座ったときに対面させない
- 体調不良者の情報共有と医療への引継
スムーズな薬の処方や入院判断ができるよう健康状態は積極的に医療と共有を図る。

今後の道の取組

1. 検証状況の動画配信(順次公開)
2. 道防災総合訓練等での改善、周知
3. 市町村の防災訓練、研修等への支援、周知